

# Gen Z interview on Carbon Neutral

カーボンニュートラルに関するZ世代インタビュー



2021年12月、

2名のZ世代（現役大学生、男女各1名）を対象に、

カーボンニュートラルに関するデプスインタビューを実施した。

インタビューでは、Z世代の環境問題に関する情報収集の実態、

環境問題への自身のスタンス、日常に取り入れているアクションを中心に話を聞き、

カーボンニュートラルに対するZ世代の考え方を理解し、

彼/彼女らを動かすヒントを探った。

そこから見えてきたのは、Z世代に共通した「生まれながらにして持っている

環境配慮の意識」と「将来への危機感」だった。





## #01

自分がハッピーになれる  
アクションが、  
自分の生き方につながっていく。

— 東京在住/19歳/大学生/Iさんの場合



## 情報収集は、Instagram 学びは、YouTube

カーボンニュートラルや脱炭素というテーマに対してどう思いますか？ また「カーボンニュートラルって何ですか？」と聞かれたらなんと答えますか？

Allbirds（オールバーズ）\* でアルバイトをさせてもらっていて、それをきっかけに興味を持ち始めました。でも、一般的な人より少し興味がある程度です。カーボンニュートラルについては「二酸化炭素を排出している量と吸収している量を相対して0にすること」というイメージで捉えています。

### そういう情報はどこで得ましたか？

Instagram で環境に関する情報を発信しているアカウントからですね。たとえば……「@エシカルな暮らし」とか。エシカル関係でフォローをしたアカウントから情報を得るといことが多いです。あとは検索をすると環境省がヒットするので、概要はそこから調べます。その後、気になる企業などが環境問題やカーボンニュートラルに向けてどのように取り組んでいるのか、などを深掘りしていく感じですね。



### なるほど。よく使う SNS はどれですか？

Instagram ですね。気になったストーリーからフィード投稿に飛んだりすることが多いです。僕は Twitter にはあまりメリットを感じなくてやっていません。インスタのほうが情報が取りやすいなと。とくに 2021 年に大学生になってから、環境に関する情報を集め出しました。あと、Youtube はしっかり情報を伝えてくれる人が多いので見ています。中田敦彦さんや、フリーランス国際協力師の原貫太さんのチャンネルは情報がすごくしっかりしていて、勉強になります。

#### \* Allbirds(オールバーズ)

環境に配慮した新素材とミニマルなデザインで、米Time誌が「世界一快適なシューズ」と紹介したことで有名な、シリコンバレー発のスタートアップシューズブランド。

<https://allbirds.jp/>

Z世代に聞く「カーボンニュートラル」のリアル  
若者と上の世代の間に見える壁

— 東京在住/19歳/大学生/1さんの場合



## 友だちと話題になるのは カーボンニュートラルより、SDGs

### 学校でカーボンニュートラルの話題を聞いたことはありますか？

うーん……。[SDGs] についての話は聞いたことがあります。高校では授業でやったり、それぞれの課題について調べて何ができるかを考える機会がありました。カーボンニュートラルに関してはあまりないですね。SDGs のほうが印象に残っています。

### カーボンニュートラルに関する話題で、気になったことや印象に残ったことはありますか？

オールバーズとアディダスのコラボで、カーボンフットプリントを1足あたり2.94kgCO<sub>2</sub>e※まで低減させた靴が出てきたことは強く印象に残ってます。競合企業とタッグを組んで、より生産工程でのCO<sub>2</sub>を下げていくという取り組み自体が新しいし、興味を持ちました。自分もあの靴が欲しいなと思っています。

### 話を聞いていると、SDGs という大きなテーマのなかに「カーボンニュートラル」というテーマがある、という認識を感じます。他のSDGsのテーマと比べて、カーボンニュートラルの印象は？

そもそも、カーボンニュートラルについて友だちと話すことがほとんどありません。「カーボンニュートラルって何？」という友人も多いと思います。一

方でSDGsは認知度や興味が高いと思います。とくに貧困や環境、ジェンダーは話題になることが多いですね。もちろんカーボンニュートラルもSDGsの一部ではあると思いますが、いま世の中で言われているほど僕たちの世代には意識づけされていないと感じます。

## 企業のアクションは伝わってない？ 情報に触れる機会の少なさ

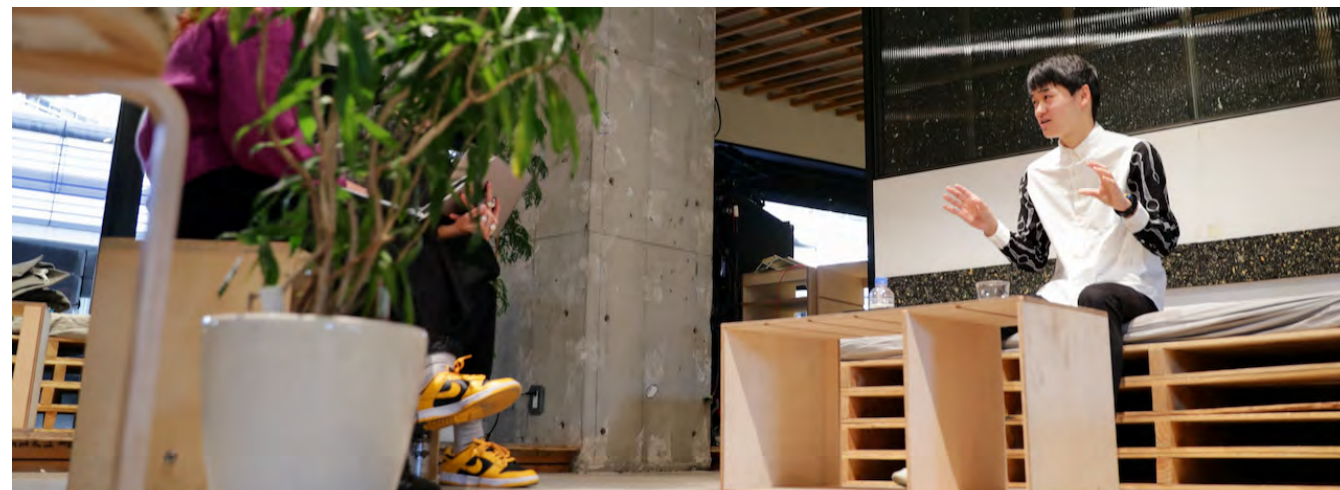
### カーボンニュートラルについてアクションしている人や企業は思いつきますか？

パタゴニアなどはそういうイメージです。ただ、具体的に何をしているかまでは正直わからず、情報が伝わりきっていないと感じます。もちろん学生たちが自ら情報を取りに行く努力が足りてないのか

もしれませんが、触れられる機会も少ないと感じます。一方でSDGsというテーマでは、マザーハウスなどが浮かびました。途上国で製品を作り雇用を生み、それが貧困の解決にもつながっているという印象があります。従来の企業が何かに取り組んでいるというよりは、新たに生まれてきた企業が積極的に社会課題に取り組んでいる、というイメージが強いです。

### なるほど。たとえば企業が二酸化炭素の排出量を減らす、などの活動をしていたら、そのイメージは変わりますか？

はい、変わります。その企業がどんな想いでものづくりやサービスを展開しているのか、ということにつながるといいます。それは、自分の就職先として考えたときにも同様です。積極的に活動をしている企業のほうがその気持ちが湧きやすいです



※kgCO<sub>2</sub>e：二酸化炭素やメタン等の温室効果ガスの影響を統一的に表す尺度として、二酸化炭素の質量に換算する際に用いられる単位  
出典 [https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/files/tools/QandA.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/QandA.pdf)

し、どこまで実現されているのかは別として、まずその思いが示されているというのが第一歩だと感じます。



## 「影響を受けるのは自分たちの世代」という意識

**カーボンニュートラルは自分たちの世代にどれくらい影響があるものだと感じますか？ 10段階で教えてください。**

僕の意識としては、7~8くらいです。カーボンニュートラルは気候変動や温暖化に影響すると思うんですけど、やっぱりその影響を受けるのは自分たちの世代ですし、当事者意識としては強いと思います。60代以上の世代の方々が今の世界を作って悪くしていると感じていて、正直言うと「あなたたちは影響受けなくていいかもしれないけど、僕たちがその影響を受けるんだよ」と感じるころはあります。一方で、変えていける力があるのも

自分たちの世代なんじゃないかなという思いもあります。

### 何年後からその悪影響を受けると思いますか？

最近の異常気象は炭素の影響もあると思うし、もうその影響は出てきているんだと思います。何年後からというより、段々増えてくるイメージですね。

### 自分たちがやれることはあると思いますか？

そこが難しいなと思っています。生活のなかで具体的に何をしたらいいかはあまりイメージできず、むしろそういう情報をもっと教えてほしいなと感じます。言葉としては知っているけど、企業や政府などが発信しているものという大きい単位でのイメージしかなくて、個人に落ちていない感じがします。自分たちは「Z世代」と呼ばれ、一般的には社会課題や環境意識が高い世代って言われますけど、実際は関心が高い人と無関心な人で二極化している印象です。関心が高い人は、そもそもモノを大切にするとか、カーボンニュートラルに限らずいろいろなことに関心を持っていて、自分の生き方にうまく組み込んでいるなあと。

### 自分も取り入れていることはありますか？

モノを買うときに生産方法などは気にしています。カーボンニュートラルの観点でいうと、遠くから配送されるものは二酸化炭素が排出されるから、なるべく近場で作られたもののほうが良いのかなと思っています。

### いいなと思ったけど、さすがにここまででは取り組みないと思うことは？

周りにヴィーガンの友人もいて「牛は温室効果ガスに影響するから食べないようにする」という話も聞くんですが、僕はそこまでできないかなと思います。お肉食べたいですし（笑）。そこは人間が肉を食べてきた歴史のなかで、今は大量生産して動物として扱っていない部分があるのかなと思うので、うまく調整できたらいいのかなと。

### Z世代において、実際にカーボンニュートラルのアクションを起こしていこうというトレンドはあると思いますか？

少しは感じますけど、それが自分の周りにすごく影響を及ぼすような大きなムーブメントになっているかという疑問です。「カーボンニュートラル」という言葉自体が硬くて、とっつきにくいのかもかもしれません。たとえば「クールビズ」のような、自分たちの日常生活に根ざしたものだとかわりやすいと思います。





### カーボンニュートラルの知識があったり、なにか取り組むことには特別感を感じますか？

最初は社会に対して考えているという特別感があつたと思いますが、続けていくと徐々に自分のなかの当たり前の生き方や考え方になって、今は特別感があるというより「自分はこういう生き方をしよう」という普通の感覚になっています。僕も高校生のときはそこまで関心が高くなかったのですが、大学に入ってから関心持つようになりました。アルバイト先のオールバーズなど、周りに関心の高い人がいる環境に入っていくと、それが特別ではなくって、そういう生き方をしている人たちと同じ感覚になりました。

### 自分がしているカーボンニュートラルに繋がりそうなアクションを教えてください。



たとえばクルマを使わずできるだけ自転車を使うようにするとか、歩くようにするとか……ですね。食べ物はなるべく鶏肉など温室効果ガスの影響が少ないものを選んだり、服もなるべく長い間使うようにしたり、すべてにおいて「ものを大切にする」「愛着を持って使い続ける」ということを心がけています。

### 自分がやっている活動やアクションを発信していますか？

苦にならない程度に、たまに発信しています。最初はインプットが多かったのですが、今はそれが周りにどう影響を与えていけるのかな、と考えるフェーズに入っています。インスタでバンバン投稿するわけではないですが、たまに発信をしたり、友だちとか関心を持っている人たちと話したりします。たとえば温暖化とか、自分たちが一番影響を受ける世代なので、それをもっと広めて行動してくれる人が増えたら嬉しいです。また、行動することで自分はハッピーになれるので、そのハッピーを共有できたらいいなという気持ちもあります。

### 周りからの反応はいかがですか？

そこまで盛り上がるわけでもないですが、「それいいね」とか「俺もやってみようかな」というレスは結構あって、思ったより反応はいいですね！

## Z世代から見た、“上の世代”とは？

### Z世代やミレニアル世代、その上の世代などありますが、自分たちの世代と炭素や温室効果ガスに対する価値観はちがうと思いますか？

はい、ちがうと思います。しっかり話し合ったわけではないので感覚値になりますが、上の世代の人たちはそういうことに対して意識を持つこと自体があまりないのかなと思います。こういった取り組みは政治家など年齢層の高い方々がやっているんだろうなというイメージですが、どこまで本気でやっているのかは正直わかりません。ただ、上の世代の方々が実践しているような、自分の畑で作った野菜を食べて、というようなローカルな暮らしには憧れますし、学びがある気がします。一方で自分より少し上の20代前半～20代中盤の人たちには、目標にすべきロールモデルのようなイメージがあります。今の社会を引っ張って、良くしようとしているのがその世代だと思います。

### 自分たちの世代が期待されているな、されすぎだなと感じることはありますか？

「Z世代」というくくりで盛り上がりすぎている印象はあります。Z世代は意識が高いと言われますが、みんながみんなそうではない。ただ、意識を高く持って行動すべき世代だとは思っているので、そこを期待される分には良いことだと思います。

## カーボンニュートラルや環境問題に対して、企業や政治に期待していることはありますか？

企業にはカーボンニュートラルに関するプロダクトを作ってほしいと感じます。また、実際に企業が何をしているのかを感じにくい部分があるので、取り組みについて透明性を持って発信してほしいです。企業はスピード感を持って取り組んでいけそうですしね。正直、政治に期待する部分はあまりないと思っています。ただ、政治が動けば一番影響が大きいので、環境活動に積極的な政治家などがいれば関心や期待が強くなる感覚もあります。

## 社会人になったら さらに環境に良いもの を選択していきたい

### カーボンニュートラルや環境問題に対して税金がかかったり、環境に配慮した商品の価格が上がるようなケースはどのように感じますか？

まず税金については、誰もが気候変動の影響を受けるわけですし、仕方がないことだと思います。自分たちの未来への投資かな、と。ただ商品については、学生である今でも「欲しいけど高くて買えない」というケースがあるので、そのシステムは変わるべきなのかな……。大量生産や大量消費で値段が下がるのがスタンダードに感じますが、「環境に配慮しているもの」がスタンダードになれば良いですよ。また僕自身も、社会人になった



ら消費行動が変化すると思います。金銭的な理由で今は買えないものも選べるようになるので、環境やカーボンニュートラルに配慮した方向に加速していくと思います。そのことについてはとてもポジティブですし、どんどん環境に良いものを選択したいです。金額が高くなることに対してのハードルも感じません。

### どんなモチベーションがカーボンニュートラルへのアクションにつながると感じますか？

最初は「良いことをしている」という意識づけで良いと思います。その上で自分の生活の質が上がったり、ハッピーになれるということが大事。そのほうが続けし、持続可能な方法なのかなと思います。アクションをすることで金銭的なインセンティブがあるのも良いと思いますが、生活とか生き方として、ちゃんと“自分のもの”になることが良いと思います。

### もし具体例があれば。

僕自身も最近 Stasher（スタッシャー）\* を買ったんですが、そのまま茹でたりチンができて、袋を使い捨てるのが減り、環境にも優しいです。トレーニングの後にスタッシャーを使って料理を作って食べたときは、タンパク質も採れたし、自分で作ったものだし、ということでちゃんと自分に返ってくる感じがして、ハッピーな気持ちになりました（笑）。オールバーズで働いているとそういうアクションに楽しく取り組んでいる人も多くて、たとえば水筒だって「こういう水筒を使ってるんだぜ」というアイデンティティのひとつになっています。

### 環境へ配慮したライフスタイルについても二極化しているという話がありましたが、そこに壁が生まれてしまう可能性は？

特にそのちがいは関係ないというか、それはその人それぞれの生き方で尊重すべきものだと思います。強めのアクションに出る人たちがリーダーになっていくことも良い方向に向かっていけると思いますが、ただ身近な存在の人に強く言われると抵抗感が出てしまうかもしれません。

#### \* Stasher(スタッシャー)

「使い捨てプラスチックゴミをなくして海を守りたい」という想いのもと開発された、アメリカ生まれのプラスチックフリー食品用保存容器。

<https://stasherbag.jp/>





## #02

どんなカタチでも  
自分で触れて知ることから、  
意識やアクションは変わる。

— 東京出身・宮城在住/24歳/大学生/Tさんの場合

## 地球温暖化への関心から辿り着いた カーボンニュートラル

**Tさんは現在大学生とのことですが、カーボンニュートラルについてどのくらい興味をお持ちですか？10段階で教えてください。**

私は6くらいです。中学受験をしたときから理科、とくに科学系が好きだったので地球温暖化などに興味がありました。カーボンニュートラルについては「2050年くらいまでに二酸化炭素の排出量と吸収量を同じにして温暖化を防ぎたい目標」というくらいでは知っています。最初はネットニュースなどで見ますが、興味があったら自分で調べるタイプなので、カーボンニュートラルについても1〜2回調べたことがあります。いま、宮城の大学に通っているんですが、地元の方に震災について話を聞いてるなかで環境問題に話が発展し、そこから地球温暖化について調べていたら、カーボンニュートラルに辿り着きました。

**調べるときはどんな方法で？**

普段からテレビは全然見ないので、LINE ニュースやコラム記事でチェックしています。あとは普通にGoogleで検索したり。SNSは一応Instagramを使ってますが、あまり使いこなせてないかもしれません……Twitterは昔やってましたが、今はやってません。Youtubeもグルメ系や美容系はよく見ますが、環境問題系の動画は見ないですね。

## 「環境問題は 自分たちやその下の世代が 直面すること」

**カーボンニュートラルについて、学校で聞いたことはありますか？**

小学校のときにリサイクル工場に行って、廃棄物を別のものに変えることで廃棄物を減らす、という体験をしました。とうもろこしの廃棄される部分を使ってボールペンを作るという企業に行った記憶が強く残っています。環境問題は自分たちの世代だけでなく、さらに下の世代も直面することなので、これから生きていくなかで大事な問題だと思いました。なるべくゴミを増やさない、とか分別をする、ということ意識するようになりました。大学でそういう話が出ることは……私の周りではないですね。でもたまに親とは環境問題について話をしま

**「行動に起こしたいけど、何をしたらいいかわからない」  
Z世代から見たカーボンニュートラルの課題とは**

ー 東京出身・宮城在住/24歳/大学生/Tさんの場合



す。このインタビューに参加する前に脱炭素について親に聞いてみたらけっこう知っていて、私より詳しくかったです（笑）。



### カーボンニュートラルに対してアクションを起こしている企業や友だちは思い浮かびますか？

私の周りは医療系や工学系が多いので、なかなかいないですね。SDGsに関する企業や人もすぐには思い浮かびません。ただ、そういう取り組みをしている企業などにはプラスなイメージを持ちます。人間と自然は共存していくべき存在だと思うので、温暖化の問題は大事だと思っています。最近、気温が上がってすごい暑くなっているじゃないですか。自分が20年くらい生きていたのにこれだけ暑くなっているの、100年後とか大丈夫なのかなあと心配になります。

### 環境問題やカーボンニュートラルに対して自分が持っている意識や行動はありますか？

最近クルマの免許を取ったのですが、なるべく排気ガスの排出量が少ないクルマが良いのかなと思ったりします。カーボンニュートラルについては、発電とか、なるべく自然のものを使えたら良いなと思っていますが、自分がなにか行動するのは……難しく感じます。あと私は、コンビニのレジ横とかに置いてある支援や協力の募金箱を見つけたら募金するようにしています。団体やボランティアに参加してアクションしている感じではないですが、募金だったらできるので。きっかけは、親が募金に積極的で、それを見てきたからだと思います。他のアクションが起こせない理由としては、今は勉強が忙しいからですね。もう少し自由な時間や情報収集する時間があればもっと興味を持てると思います。

### たとえばマイボトルを持っていたり？

はい、ウォーターサーバーがあるので、そのお水を入れて水筒を持ち歩いています。どちらかというと経済的コストのためが7割、環境のため3割、という意識ですが（笑）。私自身はとても好奇心旺盛で「お金があつたらもっとできるのに」ということも多いので、将来環境について行動していくことを考えるとワクワクします。

### 募金について、世の中に良いことをしているなという実感は？

無意識的に行っているもので、特にありません。それによる承認欲求もないです。ただ、承認欲求目的だとしても社会のためにアクションすることは良いことだと思っています。

## Z世代と、 カーボンニュートラルの距離感

### Z世代にとってカーボンニュートラルは、どれくらい関心があるイメージですか？ 10段階で教えてください。

3~4くらいだと思います。周囲でカーボンニュートラルに関心がある人は少ない印象です。ただ、個人的には興味のない人がむりやり興味を持つ必要はないと思います。すでに関心のある人が、興味のない人にいかに興味を持ってもらえるように伝えていけるか、ということが大事かなと。環境問題に意識を持つ人は増えてほしいとは思いますが……。つねに深く考えなくても良いとは思いますが、自分たちの将来に関わることなので、ある程度関心があるくらいにはなってほしいと思います。

### いつ頃にみんなが危機感を持たざるを得ないリスクがくると感じますか？

うーん……。100年くらいは今の状態のままを保てるんじゃないかなと思います。ただ、歳を取っていくにつれて少しずつ心配になりそうですね。

### カーボンニュートラルとSDGsに掲げられているテーマの、どちらが興味を持ちやすいですか？

みんなが知っているのは温暖化だと思うので、脱炭素の分野のほうが興味を持ってくれると思います。ただ、カーボンニュートラルは名前がまだ浸透していない部分もあると思います。私は「カーボンニュートラル」より「脱炭素」のほうがわかりやすいと思います。覚えやすいのはカーボンニュートラルですが、聞き覚えがない言葉だとパッと理解するのは難しいですね。



### SDGsの他のテーマに興味を持っている人は周囲にいますか？

LGBTQは大学で学んだりするので周りも関心があると思います。周りで話す人はいないのですが、それは表には表明していないだけかもしれないし、人権差別などについて考えている人は多いと思います。自分からテーマについて話すことは難しいのですが、提示されたらわかる、という感じです。

### カーボンニュートラルについて、自分自身が取り組んでいることは？

クルマの燃費はめちゃくちゃ気にしますね（笑）。ガソリン代の節約のためにもハイブリッド車が良いと思います。電気自動車や水素自動車に関して

は、出始めの頃に親に連れられて試乗に行ったことがあります。ただ、それ以外のカーボンニュートラルに関するアクションについては、そもそもどういう選択肢があるのかわからないです。友だちに詳しい人もいないので、まずは自分で調べてみて、手軽に取り組めそうなものがあれば取り組んでいきたいと思います。きっと私のように「何をしたいのかわ

からない」という若い人も多いと思います。具体的な取り組み例が提示してあると嬉しいです。若者がよく見るメディアで提示されると目につきやすいかな。YouTubeの広告とかでも良いと思います。

### 今後、社会や誰かのために自分のアクションを発信したいと思いますか？

友だちには「こういうの行ってきたんだ」と自分から話すタイプなので、これまでSNSもあまりあげるほうではありませんでしたが、全然できますと思います。行ってよかったお店など、カジュアルな内容は発信しています。ただ、共有したいことは載せませんが、募金のような自己満になるようなことをあげようと思わないですね。

## 「環境問題に一番詳しいのは親世代だし、その世代の方々に非があるとも思わない」

### 次に、世代間について聞かせてください。カーボンニュートラルについて、Z世代/20代前半から中盤にかけての世代/親世代/シニア世代と分けるとき、世代間で環境問題に対する意識は違うと感じますか？

若い世代で調べている方もいると思いますが、どちらかというとなる産業の発展を経験してきた親世代（40代～50代）が詳しいと思います。ただ、国



全体が真剣に取り組んでいるかという印象はあまりないです。やろうやろうと言っているけど目標達成が後ろ倒しになっていたり。



### それは誰が原因だと思いますか？

世界全体がやらないといけない問題だと思いますが、日本の場合は政府が発信してもあまり影響力がないと感じますし、他国のほうが伝わってくるスピードが早い気がします。メディアで海外の翻訳記事とかを読むと、日本は全体的に遅れているなと思います。

**先ほど「カーボンニュートラルは自分達の世代や、さらにその下の世代に関わることだ」と話していましたが、今の環境問題は自分の親やシニア世代に責任があると思いますか？**

いえ、それは全然思わないです。街が綺麗になったり、移動手段が便利になっていることは親世代

のおかげなので、仕方のないことだと思います。

### なるほど。一方でZ世代は期待されている、されすぎていると思いますか？

良い意味でも悪い意味でも、関心が薄いというのが若い世代なのかなと思います。親世代に比べて政治について詳しい人が少ないし、株とかも知らない。なので、個々では期待されすぎているとは思ってないんじゃないかな……。期待を感じるの、自分たちが親世代になったときなのかなと思います。

### 年齢を重ねたとき、環境のために何かしたいと思えますか？

できることがあればしたいと思います。具体的には出てこないのですが、たとえば子どもができて環境問題について質問されたとき、ちゃんと答えられるような知識を身につけておきたいな、と。

## 期待するのは、 行政より企業独自のアクション

### カーボンニュートラルや環境問題に対して、行政や企業に期待していることはありますか？

企業はオリジナリティのある活動ができるので、ひとつでも環境問題に取り組む企業が増えて、さらに発信までしてくれるともう少し社会に広がって

くと思います。SNSの時代なので、いかに発信できるかが重要になると思います。一方で、行政には正直あまり期待していません。税金についても今でさえ高いなと思うので……。

### 企業やブランドが、「環境に配慮した商品は値段を高くします」ということになったらどうですか？

それは仕方ないと思います。たとえば植物を伐採することなども人間が勝手にやっていることで、私がやっていなくても何かしら形でその責任は負うべきだと思っています。環境に配慮していることが書かれた商品は魅力的に感じます。私自身も、社会人になってお金に余裕ができるようになったら環境に配慮した商品を買いたいと思います。毎月じゃなくても、年に1回からでも。



**どういう動機づけがあったらカーボンニュートラルや環境に対してアクションを起こしやすくなりますか？**

誰かから言われたりネットで見たりするだけじゃなくて、自分の目で見ることが大事だと思います。たとえばツアーや企業見学、インタビューなど、触れる機会があれば良いと思います。「知らない」というのが一番の壁だと思うので、まずはそこは超えていく必要がある。また、環境問題に関するアクションがよりファッショナブルになっていくこと

にもポジティブです。一般化していくためにも、みんなが取り組みやすいほうが社会全体に浸透していくと思うので。

**なるほど。関心が高い人に教えてもらうというのはどうでしょうか？**

それも良いと思いますが、自分からアクションを起こせる人じゃないとなかなか難しいと思います。積極的な方なら人に聞いたり企業に問い合わせたりできると思いますが、気になっているけど人に聞

けない、という人だとネットで調べるレベルで終わってしまう気がします。ただ、過激な活動家にはあまりポジティブなイメージがありません。思想については個人の自由なので、内容は一度聞きますが、もし身近にいたら近寄りたいですし、自分と考えが違ったら避けるかもしれません。たとえば、科学館などで専門家の人と話すのは面白いと思うので、SNSなどを通して、同じ志のある人と繋がれる機会があれば繋がりたいですね。

